



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

上場会社名 川辺株式会社

上場取引所 東

コード番号 8123 URL <http://www.kawabe.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡野 将之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 五十川 幹雄

TEL 03-3352-7110

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	8,279	△27.4	△212	—	△151	—	△219	—
2020年3月期第3四半期	11,404	△4.9	50	△64.9	160	△37.7	113	△28.8

(注)包括利益 2021年3月期第3四半期 △339百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 72百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△120.26	—
2020年3月期第3四半期	62.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	12,843	6,482	50.5
2020年3月期	13,266	6,876	51.8

(参考)自己資本 2021年3月期第3四半期 6,482百万円 2020年3月期 6,876百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,660	△21.5	△430	—	△330	—	△450	—	△246.45

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	1,861,000 株	2020年3月期	1,861,000 株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	35,230 株	2020年3月期	35,013 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	1,825,873 株	2020年3月期3Q	1,825,987 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年12月31日)における国内経済は、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大による深刻な影響を受け、特に4月以降はインバウンド需要がほぼ消失し、同時に緊急事態宣言の発出を受けた休業要請や外出自粛の強まりを背景に消費マインドが冷え込み個人消費は大きく低迷いたしました。一回目の緊急事態宣言解除後、最悪の状況は脱したと思われませんが、日本はもちろん世界経済の先行き不透明感から、今後の企業業績のマイナス基調による推移が予想されることから、更なる影響が懸念される状況です。

小売業界におきましては、緊急事態宣言解除後、経済活動の再開やGoToキャンペーンの効果等から、消費は一時的に回復傾向となりましたが、年末から新型コロナウイルスの再感染拡大したことによる影響から、個人消費は長期的に低迷する可能性があることが予想されます。当社グループを含めた服飾雑貨市場も、同様に厳しい環境下にあり、先行き不透明な状況であります。

このような状況下において、当社グループは、緊急事態宣言解除後も新型コロナウイルス感染拡大を防止すべく、在宅勤務や時差出勤等の柔軟な勤務体制やオフィスにおける感染予防の取り組みを積極的に推し進め、従業員、取引先、顧客への影響の最小化に努めてまいりました。

また、事業継続の観点から財務の安定を最優先とし、手元資金確保、経費削減、投資の見直しを積極的に取り組み、今後の経営基盤強化のために効率的な組織・人員体制の確立を目的として、希望退職者の募集も行いました。

同時に本事業年度よりスタートしております新中期経営計画である「新中期経営計画2020・改革」につきましては、当初からの経営ビジョンである、人と人の繋がりを大切にするコト提案型企業を目指し、今期も既存売場の再構築と新規売上の開拓、EC事業の強化、コロナ対策としてガーゼマスクの拡販を重点施策として、計画達成に向けての取り組みも継続してまいりました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高82億79百万円(前年同期比72.6%)、営業損失2億12百万円(前年同期営業利益50百万円)、経常損失1億51百万円(前年同期経常利益1億60百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失2億19百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純利益1億13百万円)となりました。

セグメントの業績を示しますと、各事業において、上記の通り本事業年度におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けました。

身の回り品事業

ハンカチーフのカテゴリーアイテムにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束が未だに見えない環境下におきまして、ウィズコロナ・アフターコロナと向き合っていく消費者の生活様式の変化に伴う衛生意識によるマスク・ハンカチーフの需要増、また環境保全意識の高まりによるエコバッグ需要がありました。そして外出自粛による巣ごもり生活からのオンライン需要拡大等の要因も寄与し一回目の緊急事態宣言解除後は、消費動向も上向き傾向になり売上の回復が一時的にみられましたが、年末に掛けて再感染拡大の影響によりリアル店舗での売上が再び鈍化し前年比78.1%と厳しい結果となりました。

スカーフ・マフラーにつきましては、需要の高まる秋冬商戦においても、コロナの影響に加えトレンド要素がなく、更に在宅・リモートワークの推進等から、外出頻度の減少による需要減となり前年比52.3%と厳しい結果となりました。

タオル・雑貨につきましては、TV通販・EC事業の販売は順調に推移いたしました。感染再拡大の影響から直営店における雑貨関連の売上減少が影響し前年比70.2%の結果となりました。

この結果、身の回り事業での売上は前年比72.3%の結果となりました。

フレグランス事業

10月以降、郊外店のみならず都心店に於いても来客数が上昇したこと、GoToトラベルクーポン券等の利用が売上の拡大に寄与し、事業としての売上は若干回復したものの、本来の業況に戻すまでには至らず前年比74.7%の結果となりました。

全事業といたしましては前年同期と比べ、売上が減少した事に伴い、営業損益、経常損益、親会社株主に帰属する四半期純損益は減収となりました。

なお、2021年1月26日付で公表した「一広株式会社による当社株式に対する公開買付けの結果並びに親会社、その他の関係会社及び主要株主の異動に関するお知らせ」のとおり、一広株式会社が2020年12月22日から実施しておりました当社の普通株式に対する公開買付けが2021年1月25日をもって終了しました。本公開買付けの結果、同1月29日をもって、一広株式会社は当社株式の55.0%所有となり、新たに当社の親会社及び主要株主である筆頭株主となりました。本公開買付けは当社株式の上場廃止を企図したのではなく、当社株式の株式会社ジャスダック証券取引所市場における上場は維持されています。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期における「資産合計」は、前連結会計年度末の132億66百万円から128億43百万円となりました。これは主として、現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金の減少、商品及び製品の増加によるものであります。

「負債合計」は、前連結会計年度末に比べ28百万円減少し、63億60百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の減少、短期借入金の増加、長期借入金の増加によるものであります。

また、「純資産合計」は前連結会計年度末に比べ3億94百万円減少し、64億82百万円となりました。

この結果、当第3四半期における総資産は、前連結会計年度末の132億66百万円から128億43百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年12月21日発表の「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」の業績予想から変更しておりません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	731,989	976,411
受取手形及び売掛金	2,356,537	2,088,713
商品及び製品	3,631,686	3,852,606
仕掛品	69,236	122,992
原材料及び貯蔵品	239,627	199,585
その他	407,924	361,681
貸倒引当金	△1,480	△4,969
流動資産合計	7,435,521	7,597,021
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	875,768	828,091
工具、器具及び備品（純額）	65,378	64,450
土地	1,099,724	1,099,724
その他（純額）	121,357	131,284
有形固定資産合計	2,162,228	2,123,551
無形固定資産	254,011	234,318
投資その他の資産		
投資有価証券	1,114,284	473,699
投資不動産（純額）	1,672,914	1,643,116
その他	627,087	771,330
投資その他の資産合計	3,414,286	2,888,146
固定資産合計	5,830,526	5,246,015
資産合計	13,266,047	12,843,036

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,349,026	1,586,782
短期借入金	2,168,496	2,534,018
未払法人税等	46,464	24,027
賞与引当金	50,820	-
その他	582,639	958,938
流動負債合計	5,197,446	5,103,765
固定負債		
長期借入金	433,076	556,733
退職給付に係る負債	534,895	537,106
資産除去債務	65,413	64,826
その他	158,784	98,354
固定負債合計	1,192,169	1,257,020
負債合計	6,389,615	6,360,786
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,720,500	1,720,500
資本剰余金	1,770,567	1,770,567
利益剰余金	3,544,088	3,269,722
自己株式	△54,204	△54,442
株主資本合計	6,980,952	6,706,347
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△111,904	△221,100
繰延ヘッジ損益	2,248	△8,626
為替換算調整勘定	14,009	13,029
退職給付に係る調整累計額	△8,874	△7,399
その他の包括利益累計額合計	△104,520	△224,097
純資産合計	6,876,431	6,482,250
負債純資産合計	13,266,047	12,843,036

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	11,404,664	8,279,969
売上原価	7,256,082	5,304,962
売上総利益	4,148,581	2,975,007
販売費及び一般管理費	4,097,658	3,187,977
営業利益又は営業損失(△)	50,922	△212,969
営業外収益		
受取利息	89	58
受取配当金	25,149	16,265
投資不動産賃貸料	121,477	92,088
その他	44,861	42,212
営業外収益合計	191,578	150,625
営業外費用		
支払利息	12,960	13,820
不動産賃貸費用	53,925	54,845
持分法による投資損失	8,319	14,933
その他	7,220	5,420
営業外費用合計	82,425	89,020
経常利益又は経常損失(△)	160,075	△151,365
特別利益		
固定資産売却益	348	45
ゴルフ会員権売却益	6,000	-
投資有価証券売却益	49,657	157,569
特別利益合計	56,005	157,614
特別損失		
固定資産除売却損	459	2,011
減損損失	10,329	19,089
店舗閉鎖損失	11,473	893
早期割増退職金	-	309,592
特別損失合計	22,262	331,587
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	193,819	△325,338
法人税等	79,857	△105,751
四半期純利益又は四半期純損失(△)	113,961	△219,586
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	113,961	△219,586

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	113,961	△219,586
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50,317	△109,196
繰延ヘッジ損益	3,242	△10,874
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,629	△980
退職給付に係る調整額	11,079	1,475
その他の包括利益合計	△41,624	△119,576
四半期包括利益	72,336	△339,162
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	72,336	△339,162
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。